

第10回再処理・リサイクル部会セミナーの実施結果について

1. テーマ:これからの再処理技術
2. 日時:H27. 1. 16(金)9:50~16:50
3. 場所:東京工業大学 蔵前会館
4. プログラム:添付-1参照
5. 参加者数:84名(開催風景については、添付-2参照)
6. ポスター出展数:12件(一般 6件、学生 6件)
 - ・最優秀ポスター賞(一般)1件、最優秀ポスター賞(学生)1件、優秀ポスター賞(学生)1件、を選出...添付-3参照
7. 開催結果

参加者84名と、前回よりも減ったものの、まずまずの盛況であった。

○特別講演

東京工業大学の柏木孝夫氏より、「エネルギー政策の展望」について講話いただいた。平成26年4月に制定されたエネルギー基本計画のポイントと今後の電源構成の考え方(原子力発電の比率)についてお話しいただいた。

○基調講演

廃炉・賠償機構の山名元氏より、「あらためて今後の再処理について」講話いただいた。六ヶ所再処理工場の現状と、あらためて再処理の必要性についてお話いただいた。また、核燃料サイクル事業の進め方ご提案いただくとともに、エネルギーミックスにおける原子力発電ならびに再処理の必要性についてお話いただいた。

○テーマⅠ 再処理関連技術の動向

(独)日本原子力研究開発機構の松村達郎氏から「ADS による分離変換技術の概要と高レベル廃液からの分離技術の詳細と現状について」と題し、加速器駆動核返還システム(Accelerator Driven System:ADS)による分離変換技術の概要とマイナーアクチドの分離技術に関する研究開発の現状について講演いただいた。

○ポスターセッション

発表件数は前回と同等の件数であったが、学生からの件数が増加し、参加者間で活発な質疑が行なわれた。また、再処理・リサイクル部会のブースを設け、当部会の歩みと活動内容について紹介し、盛況だった。

○再処理・リサイクル部会ワーキンググループ活動報告

最初に東京工業大学の池田泰久氏と(独)日本原子力研究開発機構の吉田一雄氏より「核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究ワーキンググループ報告」と題し、シビアアクシデントの選定方法と臨界事故を例とした適用例の紹介ならびにリスク評価及びリスク情報活用に関する課題について講演いただいた。次に(株)アトックスの吉田善行氏より「テキスト作成ワーキンググループ作成『核燃料サイクル』について」と題し、テキスト作成ワーキンググループで作成したテキスト「核燃料サイクル」について紹介いただくとともに、今後のテキスト作成活動の方向性について講演い

ただいた。

○テーマⅡ 再処理分野での先端技術の開発

日本原燃(株)兼平憲男氏から「新型ガラス溶融炉のモックアップ試験計画と成果について」講演いただいた。六ヶ所再処理工場におけるアクティブ試験結果を受けて改良した新型ガラス溶融炉の開発状況、モックアップ試験について報告があった。

8. アンケート集計結果:添付-5参照

9. 添付資料

添付資料-1:セミナープログラム

添付資料-2:開催風景

添付資料-3:セミナーポスター賞

添付資料-4:アンケート集計結果

以上

第 10 回 再処理・リサイクル部会セミナープログラム

テーマ これからの再処理技術

主催 日本原子力学会 再処理・リサイクル部会

開催趣旨 東日本大震災から 3 年半が経過し、各原子力事業者は新規規制基準の対応中である。再処理について、六ヶ所再処理工場では新型ガラス溶融炉の試験運転、東海再処理工場では脱硝運転や高レベル廃液のガラス固化へ向けた準備を進めている。今回のセミナーにおいて、国内再処理の近況について紹介し、これからの再処理技術の方向性について議論し、今後の再処理技術の発展に寄与することとしたい。

日時 平成 27 年 1 月 16 日 (金) 9 : 5 0 ~ 1 6 : 5 0

場所 東京工業大学蔵前工業会館

【プログラム】

- | | |
|---|-----------------------|
| 1. 開会挨拶 井上 正 部会長 | 9 : 5 0 ~ 1 0 : 0 0 |
| 2. 特別講演
「エネルギー政策の展望」
(東京工業大学 柏木 孝夫 氏) | 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0 |
| 3. 基調講演
「あらためて今後の再処理について」
(賠償・廃炉機構 山名 元 氏) | 1 1 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0 |
| ～ 昼 食 ～ | 1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0 |
| 4. テーマ I : 再処理関連技術の動向
「ADS による分離変換技術の概要と高レベル廃液からの分離技術の詳細と現状について」
(JAEA 松村 達郎 氏) | 1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 4 0 |
| 5. ポスターセッション&coffee Break | 1 3 : 4 0 ~ 1 4 : 4 0 |
| 6. 再処理・リサイクル部会 ワーキンググループ活動報告 | |
| ①『核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究ワーキンググループ報告』
(東京工業大学 池田 泰久 氏、JAEA 吉田 一雄 氏) | 1 4 : 4 0 ~ 1 5 : 2 0 |
| ②『テキスト作成ワーキンググループ作成『核燃料サイクル』について』 | 1 5 : 2 0 ~ 1 5 : 4 0 |
| (㈱ATOX 吉田 善行 氏) | |
| ～ 休 憩 ～ | 1 5 : 4 0 ~ 1 5 : 5 0 |
| | (以下次葉) |
| 7. テーマ II : 再処理分野での先端技術の開発
「新型ガラス溶融炉のモックアップ試験計画と成果について」
(日本原燃㈱ 兼平 憲男 氏) | 1 5 : 5 0 ~ 1 6 : 3 0 |
| 8. ポスター賞表彰 | 1 6 : 3 0 ~ 1 6 : 4 0 |
| 9. 閉会挨拶 藤田 玲子 副部会長 | 1 6 : 4 0 ~ 1 6 : 5 0 |
| 懇親会 (手島精一記念会議室(蔵前工業会館内)) | 1 7 : 0 0 ~ |

以 上

4. テーマ I (独)日本原子力研究開発機構 松村 達郎 氏



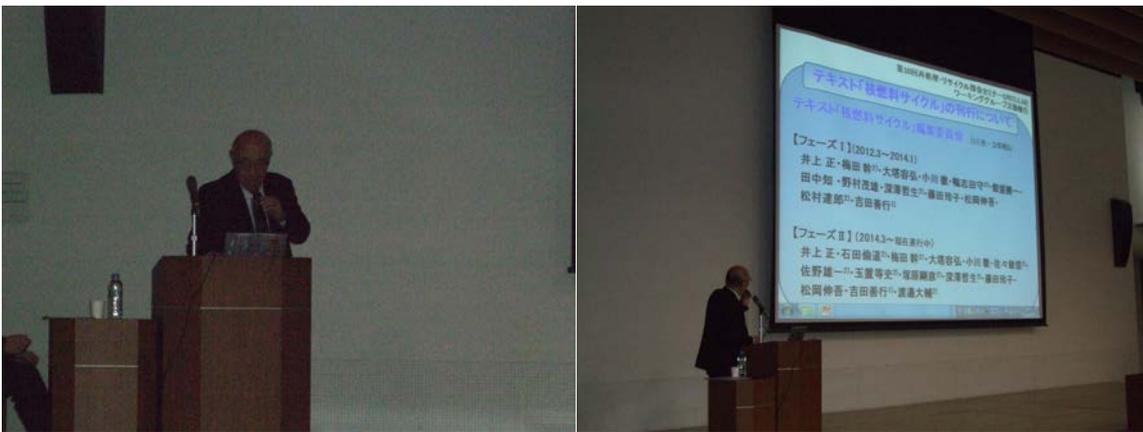
5. ポスターセッション



6. シビアアクシデント研究WG報告 東京工業大学 池田 泰久 氏、
 (独)日本原子力研究開発機構 吉田 一雄 氏



7. テキスト作成WG作成『核燃料サイクル』について (株) ATOX 吉田 善行 氏



8. テーマII 日本原燃(株) 兼平 憲男 氏



9. ポスター賞表彰

一般の部 最優秀賞

(独)日本原子力研究開発機構

佐藤 匠 氏



学生の部 最優秀賞

東京工業大学 川合 康太 氏



学生の部 優秀賞

東京工業大学 高塚 伊万里 氏



10. 閉会挨拶 藤田 玲子 副会長



懇親会の様子



第10回 再処理・リサイクル部会セミナー（2015年 1月16日）ポスター賞

【一般の部】

賞	発行番号	ポスター名	所属	氏名
最優秀賞	第 RP1401 号	ADS 用窒化物燃料の乾式再処理基盤技術の開発	(独) 日本原子力研究開発機構	佐藤 匠、西 剛史、林 博和

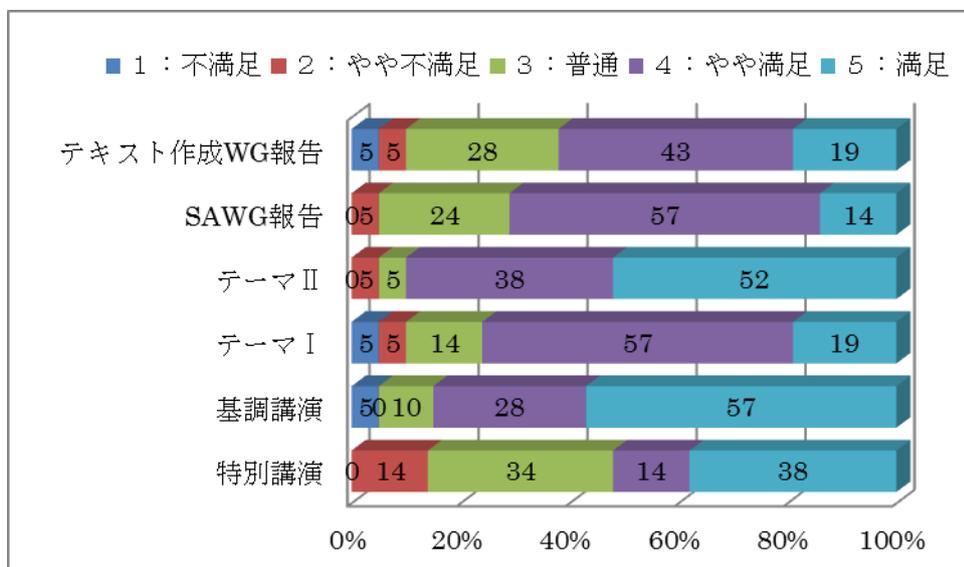
【学生の部】

賞	発行番号	ポスター名	所属	氏名
最優秀賞	第 RP1402 号	仮焼層における模擬高レベル廃液の熱分解反応速度モデルの構築	東京工業大学	川合 康太、福田 達弥、 中野 義夫、竹下 健二
			日本原燃(株)	三浦 吉幸、兼平 憲男
優秀賞	第 RP1403 号	セルロース系バイオマスを用いた水熱処理による汚染土壌減容化手法の検討	東京工業大学	高塚 伊万里、竹下健二

敬称略

アンケート集計結果

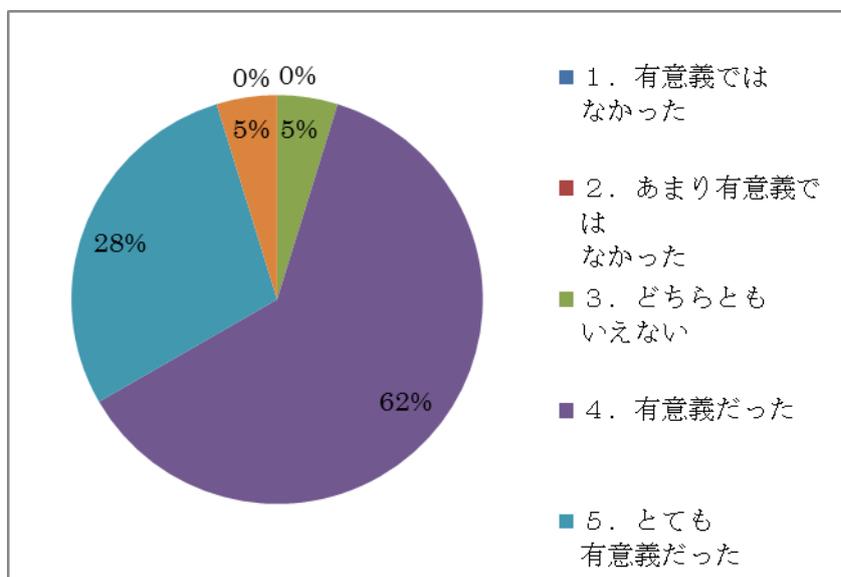
1. 講演内容それぞれについての満足度調査結果



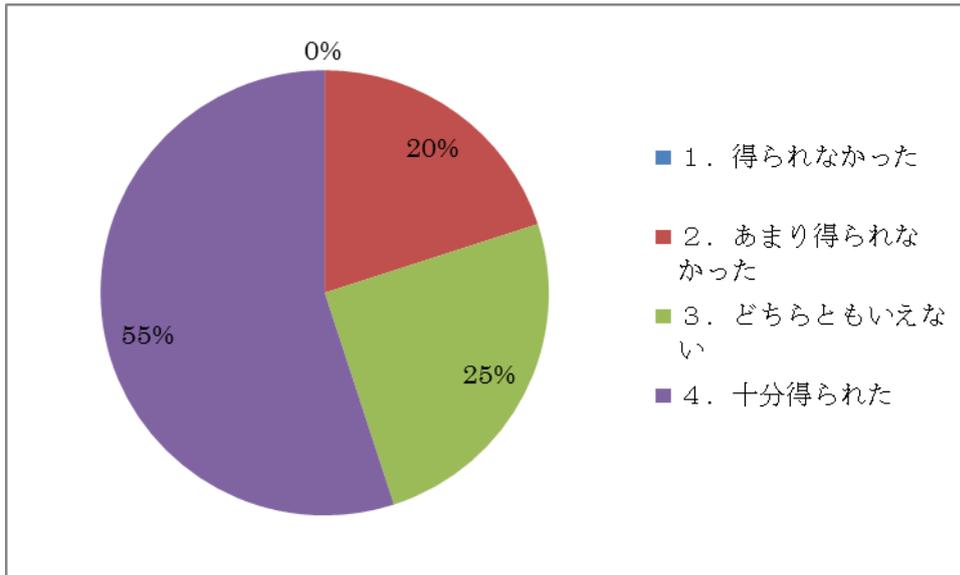
主なご意見

- ・ 特別講演内容に関する具体的な資料を戴きたい
- ・ これまでの再処理をとりまく環境ががらりと変わったということを改めて認識した。新しい流れとともにこれから若い人々に伝えていくべき事柄、進むべき道筋を示していくことができればと思う。
- ・ 充実した内容で勉強になった。

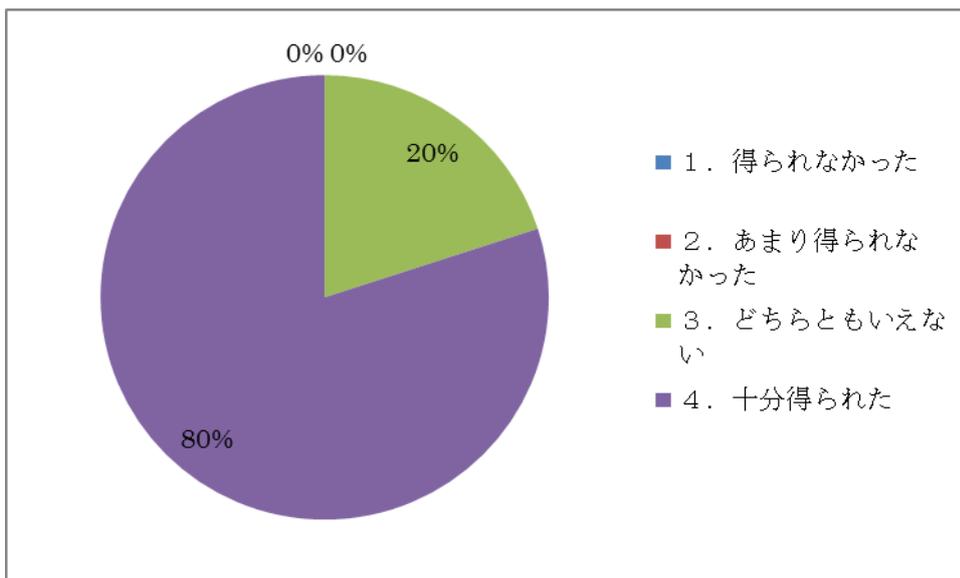
2. セミナーの有意義度調査結果



3. 来場前の情報取得度



4. 期待していた情報を得られたか



5. その他ご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・再処理分野の未来は必ずしも明るくないので（続けていくことが目的ではなく）、次にやるべきことを考えていきたい
- ・日米原子力協定改定を控え、原子力と国の安全基準（軍事面、エネルギーセキュリティ）について講演していただきたい
- ・直接処分技術について課題とその技術開発状況を紹介して欲しい
- ・WG の活動報告は部会の皆様が一見見えないところで尽力されていることが分かり、よかった
- ・議論が広がればよいと感じた